# 平和憲法・9 条をまもる 岩手の会 ニュース No.216

2023. 10. 2

発行: 平和憲法・9条をまもる 岩手の会 実務者会議

連絡先 県生協連・県消団連

TEL 019-684-2225 FAX 019-684-2227

## すすめよう!「憲法改悪を許さない全国署名」 岩手の署名は 31,013 筆 (~9月末. うち郵送 351 通・1,364 筆)

◇返信用封筒もあります。地域配布等に活用ください。ご希望の団体は岩手県生協連まで。

## 東北各地で軍拡反対・改憲阻止する大きな輪を広げよう―九条の会東北交流会―



毎年各県持ち回りで開催している九条の会東北交流会を、9月9日に青森が主催で開催しました。会場に101人、オンライン144人の計245人が参加。岩手は盛岡でサテライト会場を用意し、20名が参加しました。

当日は、一橋大学名誉教授で九条の会事務局の渡辺治氏が、「改憲と軍拡でアジアの平和は実現するか」と題し講演。改憲をめぐる情勢と、戦後78年「戦争しない国」を守ってきたのは日米同盟ではなく市民運動と憲法の力だと、他国も例にわかりやすく話し

てくれました。岸田首相は、安倍首相以上の軍拡や壊憲をする気でいるし、もし野党第 1 党が変われば、憲法審査会でのブレーキは効かず改憲の危険性はこの秋が最も高い。改憲策動を阻止する九条の会の運動をこの秋に大結集させよう、と訴えました。また、活動交流では、東北各県と市町村長九条の会からの活動を報告。平和カフェ開催や毎週のスタンディング行動、憲法学習会など、多彩な活動交流しました。

## 「平和憲法・9条をまもる岩手の会交流会」を3年半ぶりに開催

9月9日の午前中に、10団体・15人で開催しました。少ない参加ではありましたが、独自リーフレットの作成・配布や、映画会やミニ集会、学習会の開催、定期的なニュース発行など、各9条の会の取り組み報告や資料をもとに交流。今後できることや意気込みを出し合い、草の根の運動を続けていくことを確かめあいました。

#### 

ロシアのウクライナ侵攻も連日戦況報道ばかりで、「停戦」「和戦」の外交議論がなかなか沸き上がらない状況であるとき、8月に自民副総裁の麻生太郎氏が遥々と台湾に出かけて行って「日米や台湾に『戦う覚悟』が求められている」と主張したとのこと、「ウクライナの次は台湾有事!」とアメリカが喧伝するなか、日本国憲法下の日本国民が許すことの出来ない発言ではないでしょうか。

しかし、9月開会中の国連総会一般討論で、「グローバル・サウス」のブラジルのルラ大統領と南アフリカのラマポーザ大統領が「停戦に向けた『外交交渉』を!」と呼び掛けたとのこと。一縷の望みではないでしょうか。コラム子は九条の会の運動に参加していますが、「新しい戦前」の彼らの言動を許すことが出来ません。こんなふうにして「戦争の準備」が進められるのだ思います。

皆さん、如何でしょうか?日本国憲法前文は「再び政府の行為によって戦争の惨禍が起こることのないよう決意してこの憲法を確定した」としています。

我々は「麻生発言を許さない!」と声をあげ続けよう。「改憲の岸田政権を許さない!」と連呼しましょう。 10月は「日本国憲法擁護、九条守れ!」と、「解散・総選挙」の政治スタンスの岸田再改造内閣に向かって、 大きな声をあげよう。(T)

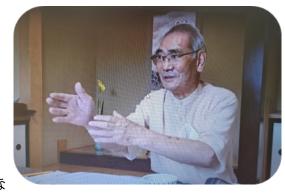
### 「1945 年釜石艦砲射撃」戦争体験をお聞きしました—いわて生協—

1945 年、第二次世界大戦終戦の年に、製鉄所がある釜石にアメリカ・イギリス連合艦隊が大量の砲弾を打ちこんだ艦砲射撃。釜石市にお住まいの藤原博さんに、いわて生協の組合員理事がお話を伺いました(報告から一部抜粋)。

#### 国民学校に入学

私は昭和10年生まれで、小学校入学の昭和16年には「尋常小学校」が「国民学校」に変わりました。国民学校の目的は、子どもを国のために命を惜しまない国民に育てること。教科書には、死んでも役目を果たす兵隊の話がのっていました。学校に行くと、校門に入ってすぐ「奉安殿(天皇の写真や教育勅語謄本を納める建物)」にお辞儀をし、並んで行進し、上級生に会うと敬礼。軍国主義ですよね。

昭和 16年 12月に真珠湾攻撃があり、戦争開始。輸入ができなくな



ったのか、バナナがなくなった覚えがあります。その後、アッツ島占領、シンガポール占領って、東南アジアに占領する国が広がると、学校で地図を赤く塗るんです。朝の朝礼では校長先生は必ず「敵艦を撃沈せし、わが国の被害は軽微なり」と言っていました。1年生からずっと戦争で、4年生になってから沖縄艦砲射撃とか東京大空襲がニュースになるように。6月には沖縄上陸となり、本当にショックでした。いよいよ本土が戦場になるんだと緊張しました。女学生は竹槍の訓練も始めていました。

#### 7月14日、8月9日に艦砲射撃

<u>屋前に警戒警報のサイレンがなって外に出たら、すぐにワーッと空襲警報になって、すぐ逃げろとなった。母と</u> 弟が先に逃げました。6年生の兄が1歳の妹に赤いハッピを着せておぶって、自分と一緒に逃げました。

艦砲射撃の爆弾が飛んできたのが見えました。この日は釜石の町の方が中心でしたが、自宅があった小佐野(釜石市内から内陸に5kmほど)にも飛んできました。かなり大きな音がしました。いつも訓練で行く防空壕まで逃げたら、「入るな、人が入ったら爆撃されるから、先にいけ」と、言われるんです。次の防空壕にも憲兵が立っていて「真っすぐ行け!」と言われる。妹の赤いハッピが目立つからか、「脱がせろ!」とも言われるが、おぶっているし脱がすこともできない。家のある地域の防空壕には入れず、原っぱを超え橋をこえ、山まで行きました。道路沿いの山すそに3mごとに穴が掘ってあるんですがそれも入れてもらえない。結局2kmほど逃げて、やっと防空壕に入ることができました。爆撃は約2時間、その間2,500発もの爆弾が飛んだそうです。

8月9日、釜石に2回目の艦砲射撃があり、私はそれを疎開先の山田町豊間根から見ました。飛行機が来て急降下したのも見たし、砲撃音も聞こえた。この音は遠野、花巻でも聞こえたそうです。釜石は全滅だ、一軒の家も残っていない、親も兄弟もみんないないんだと、孤児になることを覚悟しました。

8月 15 日終戦になり、周りの疎開していた子どもたちは帰っていったが、自分は帰れなかった。 そのうち、家族は生きていたが、家がないから帰ってくるなと言われ、結局1 2月まで疎開先にいま した。この期間が一番苦しかった。涙・涙の疎開生活でした。このときの教訓は、「飯を食べられなく ても、子どもは親と一緒にいたいんだ」ということでした。



◇藤原さんのお話の動画をいわて生協のホームページで公開しています。 <a href="https://youtu.be/BOuFrf5\_tcg">https://youtu.be/BOuFrf5\_tcg</a>

## 劇場版「荒野に希望の灯をともす」情報

**◇北上上映会決定!11月11日(土)10時~ さくらホール大ホール** 

詳細は、シネマとうほくまで(TELO22-225-0986)。

また、来年4月には花巻市中心部で開催予定です。このほかの地域でも上映しようと呼びかけていますので、決まり次第お知らせしていきます。

「10月の岩手の会街宣行動」10日(火)12:15~12:45盛岡市大通・野村証券前

ご都合のつく方は、ぜひご参加下さい。